

報 告 書 抄 録

ふりがな	ながはまじょういせき だい272じはつつちようさほうこくしょ							
書名	長浜城遺跡 第272次発掘調査報告書							
シリーズ名	長浜市埋蔵文化財調査資料							
シリーズ番号	第159集							
編著者名	小島孝修・辻川哲朗							
編集機関	長浜市教育委員会			公益財団法人滋賀県文化財保護協会				
所在地	滋賀県長浜市八幡東町632			滋賀県大津市瀬田南大萱町1732-2				
発行年月	平成29年（2017年）2月							
所収遺跡	所在地	コード		北緯	東経	面積	調査期間	調査原因
		市町村	遺跡番号					
ながはまじょう 長浜城 いせき 遺跡	しがけん 滋賀県 ながはまし 長浜市 きたふねちよう 北船町	25203	203-008	35° 22' 44"	136° 15' 59"	480㎡	20151115～ 20151117 20160301～ 20160303 20160408～ 20160414 20160523～ 20160603	長浜駅 東地区 市街地 再開発事業
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構	主な遺物	特記事項		
長浜城 遺跡	城跡・ 寺院跡	弥生時代中期前半		土坑・土器溜り・ 溝	弥生土器・ 玉作関係遺物・ 磨製石斧・石鏃			
		古墳時代後期		竪穴住居・土坑	須恵器・土師器			
		奈良時代後半～ 平安時代初頭		溝・小穴	須恵器・土師器・ 土錘・平瓦			
		平安時代末～ 鎌倉時代初頭		溝・小穴・土坑	山茶碗・土師器			
		江戸時代		堀・礎石建物	陶器・磁器・ 五輪塔・ 宝篋印塔・石臼			
要 旨	<p>安土桃山時代の長浜城に直接かかわる遺構・遺物は検出していないが、弥生時代中期前半から江戸時代にかけての遺構・遺物を検出した。大きな成果として以下の2点がある。</p> <p>1点目は、江戸時代における長浜町の堀石垣を検出し、長浜城外外堀を踏襲して町割がなされていた具体的な痕跡を確認できたことである。</p> <p>2点目は、浜堤上微高地と考えられる安定した地山層上面で、弥生時代中期前半から平安時代末～鎌倉時代初頭の遺構群を検出し、長浜城築城以前の琵琶湖岸における土地利用のあり方の一端が判明したことである。</p> <p>調査範囲は狭小ではあったが、多くの新たな知見を得られたといえる。</p>							